



小川 紗楽さん

質問 幌延のPRの仕方について提案します。

漫画で幌延の良いところや特徴などを紹介するPR漫画を作ってみてはいかがでしょうか。

ユーザーブチャンネルで紹介することにより認知度やイベントの盛り上がりなど、相乗効果も期待できます。

答弁 幌延町でも地域おこし協力隊員が、ツイッター、フェイスブックやユーザーブで幌延をPRしています。

小川さんが提案する漫画を活用したまちのPRは、わかりやすく、楽しく理解してもらうことができる良い方法だと思います。まちの魅力をもっと多くの人に伝えることができれば幌延

に移り住もうと考える人が増えるかもしれません。幌延がもっと魅力ある暮らし良い町になるための政策と合わせて、効果的なPRの方法について情報収集しながら考えていきたいと思っています。



ホロベール vs ツリーくん (ほろのベテレビ)



小原 将希君

質問 これまで人の手で行っていた作業をAIに代

えることで、町民に時間的余裕ができて生産性の向上や効率的な働き方が可能になり、豊かで持続可能な生活ができるまちづくりにつながっていくと思います。

答弁 現時点でAIの活用は、小中学校での学習ドリル、それ以外には、議事録等作成業務があります。本日開催されていることも議会の議事録もAIを活用したシステムで音声データを文字に変換することで事務負担軽減につながっています。

ICTは、IP告知端末機をはじめ、既にさまざまな業務に活用しています。AIの導入は費用対効果の観点からも慎重に検討する必要があります。

今後、情報収集をして、住民サービスの向上や業務の効率化などに必要なものがあれば取り入れたいと思います。



佐藤 楓真君

質問 幌延町では、町内外の人々が集う場所や機会が少ないと思うので老人福祉センターを再建築し様々な年代の人々が利用できる施設にしてはいかがでしょうか。また私たち中学生も幌延町を更に活性化するために町おこしに協力したいと考えています。実際に町おこしされている人々と交流できる機会を作っていただけませんか。

答弁 幌延に活気と賑わいをもたらす「まちの拠点」の施設が必要だと考えていて、その拠点・施設にどのような役割や機能を持たせるのが良いか町民皆さんのご意見を聴きながら検討を進めています。

また町民の方や道外からやってきた若者が、空き店舗などをリフォームして開業し、まちの賑わいづくりに貢献してくれています。このような人たちとの交流は、皆さんにとって貴重な経験になると思いますので、地域探求の時間などを活用した交流ができないか検討します。



佐藤 由衣さん

質問 本町のシンボルでもあるブルーポピーのワッペンがついたハンカチや、テシオコザクラのアロマを加工した商品など幌延町限定品を売れば話題性が上がるとおもいます。

また、トナカイ牧場やホロカルでしか限定商品を見